令和８年度　川崎市立南菅中学校　学校経営方針

かわさき教育プラン
「一人ひとりが輝き、
共に未来をつくる」

学校教育目標

知・徳・体・意の調和のとれた、
人間性豊かな生徒を育成するために

１ 正しい判断力を身につけ、自ら学ぶ意欲を持つ人
２ 礼儀正しく、思いやりのある明るい人
３ 健全な心身を持ち、勤労を愛する人
４ 責任感と忍耐力のある人

教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校教育方針

支援教育を軸とした教育活動

「生徒がいるところには教師がいる」を合言葉に、丁寧に寄り添い、一人ひとりの生徒を大切にする

学校経営の目標

確かな学力の育成	豊かな心の育成	健やかな心身の育成	魅力ある、開かれた学校づくり

中期経営目標（R7～R9）

確かな学力の定着と主体的に活動する力を育てる教育の推進	思いやりのある豊かな心を育てる教育の推進	健やかな心身を育てる健康・安全教育の推進	家庭や地域と連携し、共に生徒を育てる教育の推進

重点目標

・基礎基本の定着、わかる授業の実践 ・個別最適な学び、協働的な学びの充実と深い学びの実現 ・主体的な活動の支援による生徒の自己肯定感の向上	・生徒、教職員の人権尊重意識の向上 ・一人ひとりを大切にする支援体制の効果的運用	・基本的な生活習慣の確立 ・健康教育、安全（防災、情報モラル）教育の推進 ・安全・安心で快適な学習環境の整備	・キャリア在り方生き方教育の推進 ・家庭、地域への情報発信と連携 ・学校関係者評価等による教育改善 ・生徒と向き合うための業務改善

具体的な取り組み

○基礎・基本の学習内容の定着を図るため、学習習慣を確立させる。 ○板書、ワークシート、ICT機器等を工夫し、授業のユニバーサルデザイン化を図る。 ○生徒が主体的に活動したり、互いの意見を交流させる授業展開を工夫する。 ○GIGA端末を活用し、授業改善を図る。 ○「妥当性、信頼性のある評価」を行い、生徒の学習意欲向上に結びつける。 ○市学習状況調査結果の活用等により生徒の学習状況を把握し対応する。 ○教員相互や外部講師による授業・評価研修やICT活用研修を行い授業力向上を図る。 ○様々な学習支援体制の周知と支援が必要な生徒の状況に合わせた学習支援を推進する。 ○周年行事での生徒活動の経験を生かし、生徒が主体的に関わる行事や特別活動の機会を増やし、達成感や満足感を得て、自己肯定感を高める取り組みを行う。	○令和8，9年度人権尊重教育研究推進校として ・教育活動の様々な場面で人権尊重教育を行う。 ・いじめを絶対にしない、させないという意識が生徒に定着する取り組みを進める。 ・教員の人権尊重教育等についての理解を深める研修を行い、生徒への適切な関わり方やいじめの未然防止に反映させる。 ○SOSの出し方・受け止め方教育を推進する。 ○教師は日頃から生徒との信頼関係を構築し、生徒の困り感の早期発見、対応に努める。 ○主任会等での情報交換を密にし、職員全体で迅速な情報共有を図り、一体となった指導・支援を行う。 ○不登校生徒への対応について、保護者、SC、他機関との連携を深め、一人ひとりに寄り添った支援を行う。 ○共生＊共育プログラムの研修内容を生かし、学級内の生徒の状態の的確な把握に努める。 ○生徒の実態を考慮し、道徳教育を計画的に進める。	○基本的な生活習慣等、ルールやマナーが身に着き、望ましい学校生活が送れることの意義を生徒自身が考え、主体的に習慣を身に着ける取り組みを行う。 ○3年間を見通した健康・安全教育を計画し、実施していく。 ○効果的な実施時期に熱中症予防、薬物乱用防止、性教育、情報モラル等、健康・安全啓発のための学習に取り組んでいく。 ○日頃から生徒が感染症予防対策を意識し、健康維持を心がけるよう指導する。 ○防災についての授業等を通して、身の守り方や災害時の対応について学ぶ。 ○自然災害、不審者対応など様々な緊急事態を想定した訓練の工夫と実施を進める。 ○SNSトラブル等が起きないよう、教科、特別活動等で情報モラルの指導を進めていく。 ○個人情報等の文書やデータの管理を徹底し、情報流出や紛失がないよう確実に取り組む。	○キャリア在り方生き方教育を中心として、総合的な学習の時間に探究活動を効果的に取り入れていく。 ○ホームページやメール、学校、学年だよりで学校情報を発信し、教育活動への理解を得ていく。また、情報の内容と重要性を考慮し発信媒体を適切に選択する。 ○生徒のために、保護者、地域、学校が連携して教育活動を進めることに努める。 ○学校運営協議会を定期的に開催し、外部の方のご意見を参考に教育改善に取り組む。 ○学校評価を生かし、教育活動を進める。 ○コンプライアンス意識を高め、保護者・地域に信頼される学校づくりを進める。 ○地域教育会議主催の活動に参加した生徒の体験を他の生徒にも紹介し活用する。 ○働き方改革を進め、教職員がゆとりをもって生徒と向き合ったり、家庭・地域と連携できるように取り組む。